

横田基地における演習の実施等について

このことについて、防衛省北関東防衛局から、下記のとおり情報提供がありましたので、お知らせします。

なお、横田基地周辺市町基地対策連絡会は、下記のとおり口頭要請を行いましたので、併せてお知らせします。

記

1 情報提供内容

別紙のとおり

2 口頭要請内容

(1) 要請日

令和7年2月27日（木）

(2) 要請先

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

北関東防衛局長

横田防衛事務所長

(3) 要請内容

令和7年2月25日（火）に北関東防衛局から「令和7年3月3日（月）から同年3月7日（金）までの横田基地における演習の実施等

について、24時間体制で行い、航空機の運用や、PASの使用に加え、空包を使用する場合がある。PASについては1日に数回使用し、通常の運用時間（午前6時から午後10時まで）外に使用する可能性がある。この他、演習期間全体を通じて、全てのゲートで1日あたり最大約60分間の計画的なゲート閉鎖がある。一部訓練において自衛隊が参加予定」との情報提供を受けた。

従前より、当連絡会からは、通常の運用時間帯以外での訓練を極力実施しないよう求めてきた。

夜間早朝におけるPAS及び空包の使用による騒音は、健康被害や不安の増大につながるとともに、横田基地周辺の住民の睡眠等を妨げるなど、その影響は非常に大きなものである。

こうした周辺住民の生活環境への影響を踏まえ、次のとおり要請する。（※）

- 市街地上空での低空・旋回飛行訓練は行わないこと。
- 夜間早朝に航空機の運用やPAS及び空包の使用を行わないこと。
- 通常の運用時間帯以外での訓練を極力実施しないこと。
- 使用する航空機においては、安全対策の徹底を図り運用すること。
- 基地の外に影響を及ぼさないよう、安全対策の徹底を図ること。
- 周辺住民への不安軽減を図るため、特に、通常の運用時間帯以外で実施される騒音を伴う訓練については、その詳細な日時等について情報提供を行うこと。
- ゲート閉鎖に伴う周辺道路への混雑等の影響が出ないように、努めること。

※ 国に対しては、「貴職におかれては、こうした周辺住民の生活環境への影響を踏まえ、次の事項について、訓練に関わる自衛隊に周知するとともに、米軍に申し入れを行うよう要請する。」と要請。

令和7年2月25日

横田基地における演習の実施等について

横田基地広報部より以下のとおり情報提供がありましたので、お知らせいたします。

【情報提供内容】

1 演習の名称

ビバリー・モーニング 25-02

2 実施期間

令和7年3月3日（月）～同年3月7日（金）
（24時間体制）

3 目的

- ・地域における航空機運用の即応態勢の確認
- ・横田基地の全体的な即応態勢の確認

4 内容等

○航空機の運用について

- ・通常運用時間（0600-2200）内で第374空輸航空団所属の航空機を使用する可能性がある。
- ・戦闘機を含む外来機及びCV-22の参加予定はない。
（演習以外で飛来する可能性がある）

○PAS、GBS、バッシュキャノン及び煙幕等の使用について

- ・PAS：3月3日から3月7日まで、1日に数回使用する。
通常運用時間（0600-2200）外に使用する可能性がある。
- ・GBS、バッシュキャノン及び煙幕：使用する予定はない。
- ・その他空包を使用する可能性がある。

5 その他

- ・演習期間全体を通じて、全てのゲートで1日あたり最大約60分間の計画的なゲート閉鎖がある。
- ・人員降下訓練を実施する予定はない。
- ・一部訓練において自衛隊が参加予定。
- ・演習等の予定は、運用状況によって変更となる場合がある。
- ・演習終了の通報を行う予定。

6 北関東防衛局における対応

北関東防衛局から米軍に対し、当該演習の実施に当たっては、安全対策に万全を期すとともに、日米合同委員会合意を遵守し、周辺住民に与える影響を最小限にとどめるよう配慮を申し入れた。

(参考)

- ・ P A S (Public Address System) : パブリック・アドレス・システム
大音響の出る特殊なスピーカを使用し、サイレンや広報を行なう。
- ・ G B S (Ground Burst Simulator) : グラウンド・バースト・シミュレーター
地上爆発模擬装置。金属製の容器内で爆発物を破裂させ、爆発音を発生させる。
- ・ バッシュキャノン (Bash Cannons) : 滑走路上の鳥を追い払うための、疑似音を出す装置

以上